

日 時：令和7年2月7日（金） 10：30～12:00

場 所：県庁13階第1会議室

参加者：教育管理統括監、教育指導統括監、参事、総務課副参事（代理出席）、教育支援課長、
学校人事課長、働き方改革推進課長、県立学校教育課長、義務教育課長、
保健体育課長、生涯学習振興課副参事（代理出席）、文化財課班長（代理出席）、
国頭教育事務所長、中頭教育事務所長、那覇教育事務所長、島尻教育事務所長、
宮古教育事務所長、八重山教育事務所長

1. 本部長あいさつ

2. 報告事項

（1）ワーキング・チーム（WT1～6）の具体的な取組状況

→令和6年度ワーキング・チームの主な取組状況の公表

【改革課】：WT1について

- ①労働安全衛生管理体制に関しては、県の独自調査によると令和6年度は令和5年度に比べて改善がみられる。
- ②働き方改革とメンタルヘルス対策の一体的推進に関しては、令和7年度も引き続き各教育事務所と連携しながら進めていきたい。

【保体課】：WT2について

- ①次年度からは「地域移行」から「地域展開」へと名称を変更し、取組を進める。
- ②専門的に指導できない教員が負担を感じているとの声がある。
- ③地域クラブが主体となり、積極的に指導したい教員が兼職兼業で行えるような仕組みづくりや拠点校方式なども検討している。

（2）令和6年度「沖縄県公立学校における働き方改革推進計画」成果指標集計結果概要（暫定版）

→①「私たちのピース・リスト2023」における教育委員会が中心になって取り組む事項（38項目）に関する取組結果の公表

②「私たちのピース・リスト2023」の取組状況調査結果【各校種 暫定版（速報値）】の公表

③成果指標集計結果概要【各校種 暫定版（速報値）】の公表

【那覇教】：「ゆとり」ある時間の確保について。学校でも「本校におけるゆとりとは何か」を、自分たちで考えていく必要がある。

【改革課】：どの校種でも管理者と教職員との成果指標の開きがあるのが興味深い。各学校で「ゆとり」について対話をして、共通理解を図るのが大切。このデータを活用することで取組を進めたい。

3. 協議事項

（1）令和7年度のワーキング・チームの主な取組について

- ・次年度も引き続きワーキング・チーム等で検討を進める。

（2）学校へのコンクール等の募集の周知方法の改善について

- ・次年度も引き続き検討を進める。